

## 第 49 回インナーゼミナール大会

### 研究計画書

<b>ゼミ名</b>	森本ゼミ II	<b>チーム名</b>	2 代目よつき
<b>タイトル</b>	基幹空港への需要の集中		
<b>テーマ群</b>	e)産業・企業		
<b>メンバー</b>			
<b>研究計画内容</b>	<p>日本の国内線の中で基幹空港と呼ばれる空港が 5 つある。基幹空港とは「空港が複数ある地域の中で、国内線の中心的な役割を担う空港のこと。」である。国土交通省のデータによると平成 30 年度の基幹空港の旅客数は全体の 62.32%を占めている。地方空港からでは直通の飛行路線がなく基幹空港を利用しているという理由がある。他の理由があると考え、なぜ基幹空港に需要が集中しているのかを調べ、その結果より今後効率よく飛行機を飛ばすにはより基幹空港に需要を集中させるべきか、また地方空港に需要を分散させるべきかを考えた。</p> <p>研究対象を九州に視点を置き九州地方の航空産業の実態を調べた。空港からのリムジンバスの路線がどのくらいの県にまたがっているか、1 日の九州の空港の路線数、県間移動人数のデータで基幹空港の福岡空港に需要が集中していることが分かった。そこから私たちは基幹空港が地方に飛ばす少数本数の便の必要性があるのかを調べ、その結果を用いて基幹空港にもっと需要を集中させて本数を増やした方が効率いいと判断して、研究を行うことにした。</p> <p>基幹空港をより発展させるためには、現状として行っている事を把握しそれを改善する為に私たちの班はリムジンバスと宿泊施設の増加を提案する。この提案を実行するために現状との比較、どのように実現させるか、また理想的な料金設定の研究を行う。この研究によって日本の航空産業をより活性化し、利用者は効率よくコストを抑えられ、便利に利用することができると考えられる。</p>		